

企画展

神谷源五郎下屋鋪



生誕150年 桑原羊次郎と 桑原文庫

蔵書印からみたコレクションの成り立ち

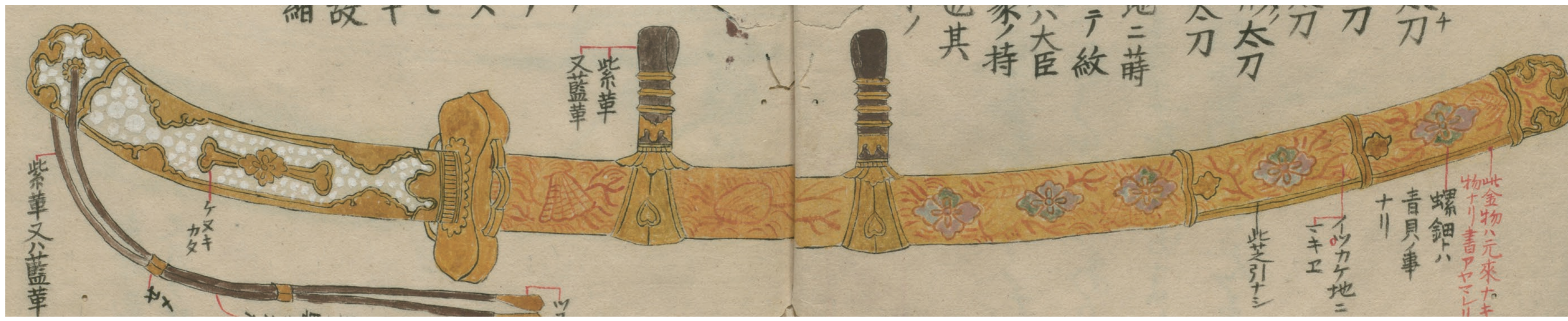
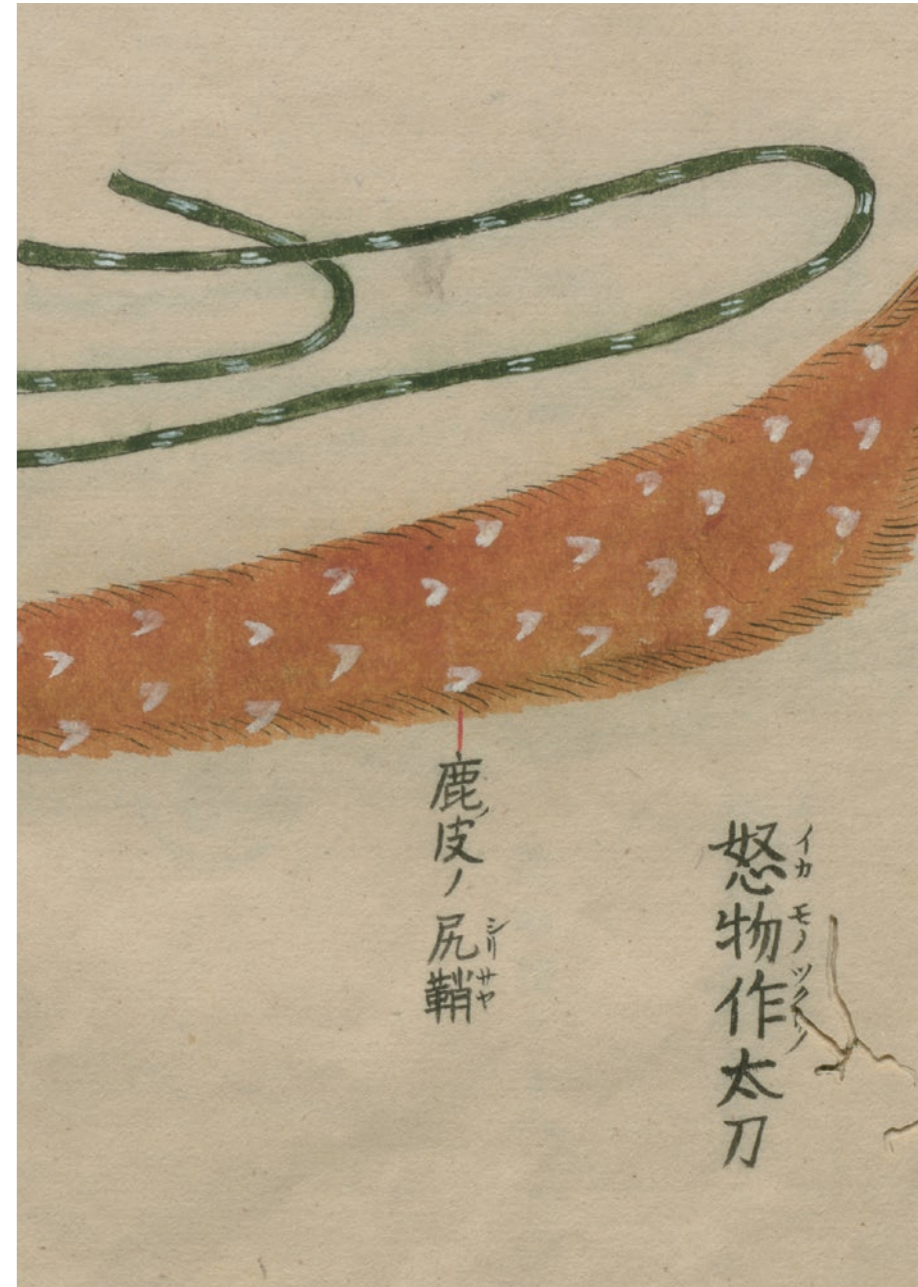
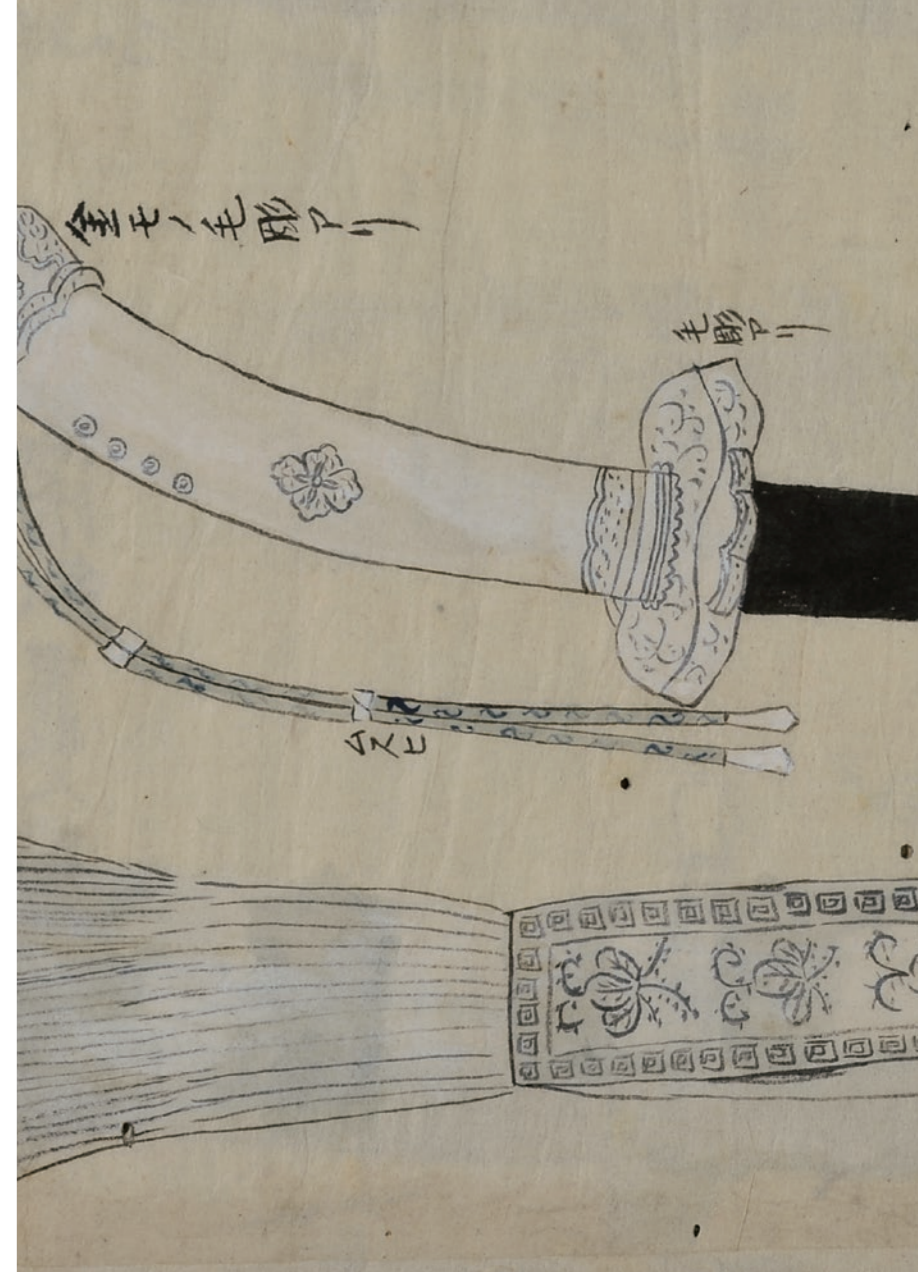
入場無料

平成30年
期間 9月13日 木 — 10月18日 木

9月13日～9月30日 (月～金) 9:00～17:00 (土・日・祝) 休館
10月1日～10月18日 (月～金) 8:30～21:30 (土・日・祝) 10:00～17:30

会場 島根大学附属図書館 本館1階展示室

主催：島根大学附属図書館 共催：島根県立美術館／桑原羊次郎・相見香雨研究会／島根大学法文学部山陰研究センター



近代松江の名望家であった桑原羊次郎は、浮世絵や刀装具などの美術工芸の分野においても当代一流の研究家・収集家として知られています。また、羊次郎の旧蔵資料の大部分は「桑原文庫」として島根大学附属図書館に収蔵されています。「桑原文庫」には、出雲国風土記などの地誌や、古地図・国絵図、文学関連の古典籍、美術・工芸分野の多様な資料が含まれており、これらの資料の蔵書印や書き込みをもとに、いくつかの資料群に分けることができます。本展は、これまでの調査で分かってきた資料群の来歴と「桑原文庫」の代表的な資料を紹介するとともに、新たに寄贈を受けた新収資料を展示します。

今年、羊次郎の生誕150年の節目に当たる年であり、島根県立美術館で開催される「生誕150年 桑原羊次郎」展(2018年9月27日～11月12日)にあわせて、本展を同時開催するものです。

